



2020年10月26日

各 位

会 社 名 アンジェス株式会社
代表者名 代表取締役社長 山田 英
(コード番号 4563 東証マザーズ)
問合せ先 経 理 部 長 櫻井 純
電話番号 03-5730-2753

営業外収益・営業外費用および特別損失の計上に関するお知らせ

2020年12月期第3四半期連結累計期間における、営業外収益・営業外費用および特別損失の計上について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 営業外収益の計上

外国為替相場の変動により、主に外貨建債務の決済及びドルの為替ポジションの見直しを図ったこと等に伴う為替差益を2020年度12月期第3四半期連結累計期間において22,122千円を計上いたしました。

2. 営業外費用の計上

新株予約権の行使に伴う登録免許税および代行手数料の発生等により、株式交付費を2020年度12月期第3四半期連結累計期間において、67,556千円を計上いたしました。

また、持分法適用会社である EmendoBio Inc. (以下 Emendo 社といたします) の決算報告に基づき、持分法による投資損失を2020年度12月期第3四半期連結累計期間において263,667千円を計上いたしました。

3. 特別損失の計上

持分法適用会社である Emendo 社への当社の持分比率の変動により、持分変動損失を2020年度12月期第3四半期連結累計期間において21,123千円を計上いたしました。

4. 今後の見通し

今後の業績見通しにつきましては、現在プロジェクトを進めております新型コロナウイルス感染症向けワクチン開発は緊急性が高く、従来の薬品開発に比べて短期間での非臨床試験、臨床試験を実施しておりますが、発生費用の見通しが不透明な状況にあります。加えて本ワクチン開発に対して厚生労働省から「令和2年度ワクチン生産体制等緊急整備事業」に対するご支援を、国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) から「新型コロナウイルス (COVID-19) を標的としたワクチン実用化開発」および「新型コロナウイルス (COVID-19) を標的としたDNAワクチン臨床開発」をテーマとしてそれぞれご支援を頂き、当該ワクチン開発を急ピッチで進めておりますが、各テーマにおける今年度の業績影響が現時点では未確定となっております。

こうした状況を踏まえ現時点では業績に影響を与える不透明な要素が多く、適正かつ合理的な数値の算出が困難であると考えており、通期の業績予想は開示を見合わせます。なお、今後の事業の進捗を踏まえ、合理的な算出が可能になり次第速やかに開示いたします。

以上